市民会議報告書

目次

項　　目	ページ
１．市民会議開催概要	3
２．各回の概要	7
① 第1回	10
② 第2回	20
③ 第3回	33

１．市民会議開催概要

開催の背景と目的

開催の背景

■ 第9次小山市総合計画の策定にあたって、市民の意見を広く聴取し、計画策定の参考とするため、次の2点を踏まえ市民会議を開催しました。

1. 小山市におけるまちづくりに参画する意欲を持つ市民の、地域への思いや建設的な意見を取り入れること。
2. 計画の策定段階から市民が参画し、まちづくりについて主体的に検討していただくこと。

開催の目的

■ 小山市民等が抱く、市の魅力や将来の市に対する思いや願いを、他の参加者との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、市民が主体的に検討した上で、第9次小山市総合計画の策定に繋げることを目的とします。

開催回数と各回のテーマ

開催状況

■ 本市民会議は、以下のとおり全3回で開催しました。

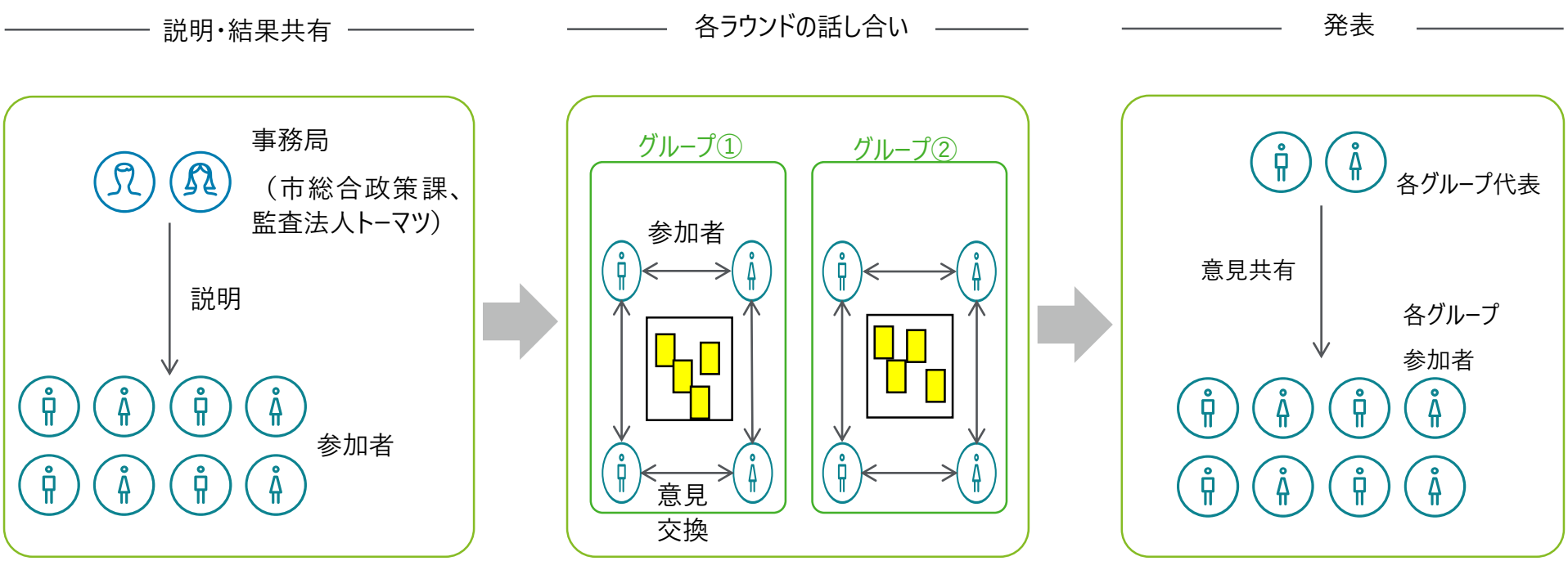
	第1回	第2回	第3回
開催日時	令和6年8月24日（土） 14:00-16:30	令和6年9月7日（土） 14:00-16:30	令和6年9月21日（土） 14:00-16:30
開催場所	小山市役所本庁6階大会議室	小山市役所本庁6階大会議室	小山市役所本庁6階大会議室
参加者数	25名	23名	23名
実施形式	ワールドカフェ形式※	ワールドカフェ形式※	グループディスカッション （メンバーシャッフルなし）
テーマ	小山の好きなところと、これからの小山で大切にしたいことを考える	小山の理想像と、実現に向けてすべきことを考える	誰もが住みよい小山を考える
ラウンドテーマ①	小山の好きなところ	小山の理想像	子どもにとって住みよい小山
ラウンドテーマ②	これからの小山で大切にしたいこと	小山の理想像に向けて行政に期待すること	現役世代にとって住みよい小山
ラウンドテーマ③	―	小山の理想像に向けて自分ができること、したいこと	高齢者にとって住みよい小山

※ワールドカフェ形式：カフェのようなリラックスした雰囲気で少人数ごとのテーブルに分かれ、メンバーをシャッフルして対話を行い参加した全員の意見等を共有する形式。詳細は次頁を参照

実施方法

ワールドカフェ形式の概要

- 小山市民会議（第 1 回及び第 2 回）は、ワールドカフェ形式で実施しました。
- ワールドカフェ形式は、カフェでリラックスしているような雰囲気で議論を行います。各ラウンドごとに席移動を行い、グループで自由に意見を出し合い、それを他の人にも共有することで、まるで会場内の全員と対話しているような雰囲気での話し合いを目的とします。
- 話し合いの場面では、5 グループに分けて話し合いを行いました。
- 話し合いの最中に出た意見は、付せんを用いて模造紙に記録することにより参加者同士で意見を共有しました。



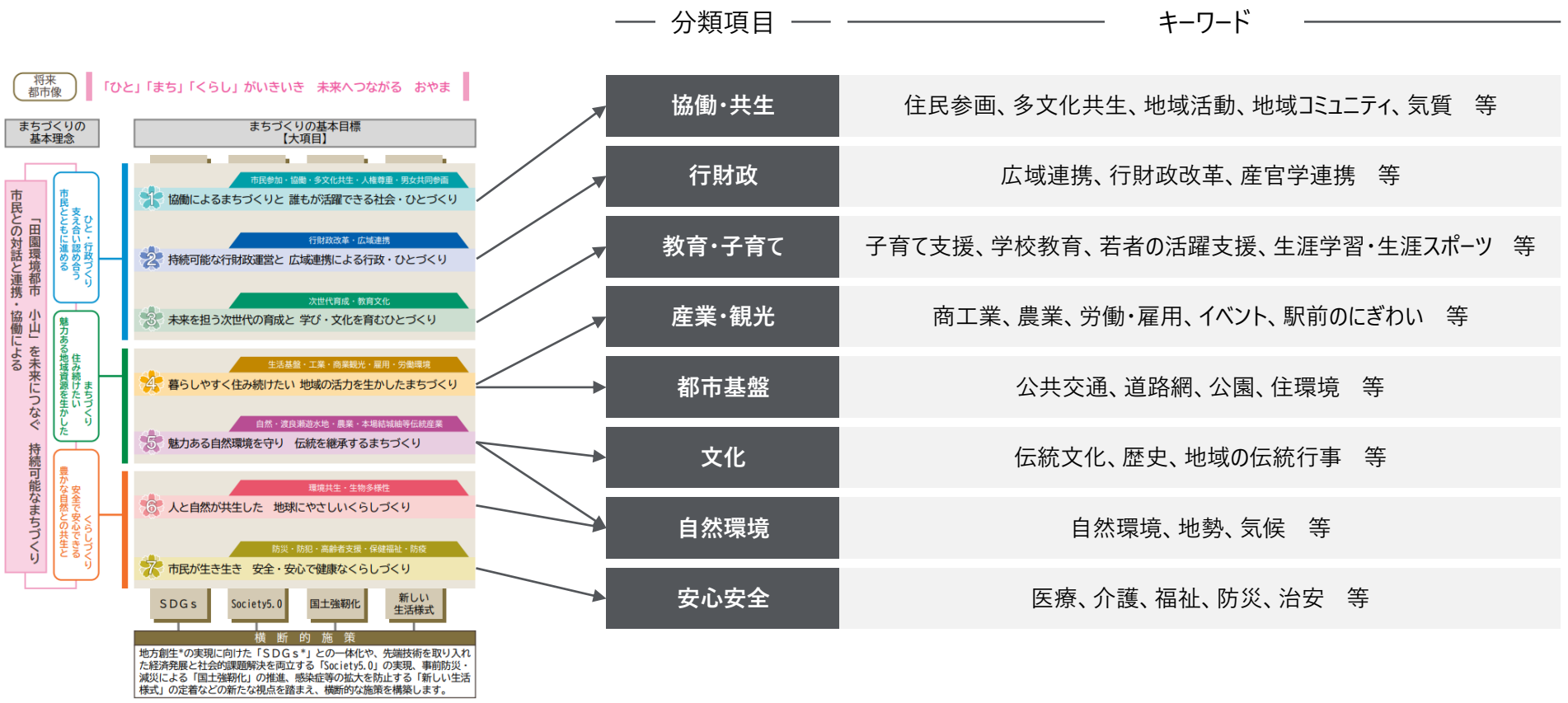
２．各回の概要

市民意見の分類

分類項目

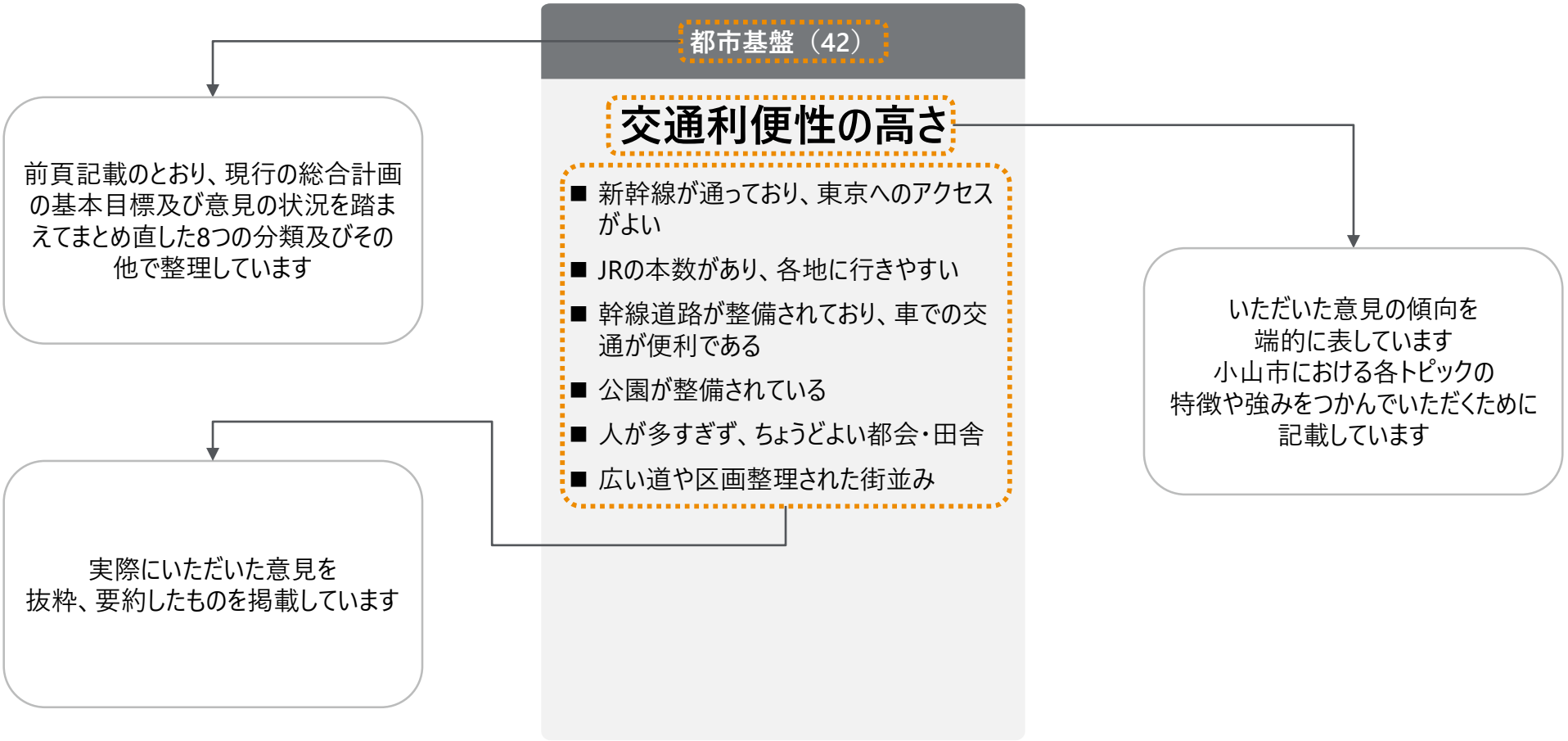
■ 市民会議内で出された意見の分類にあたっては、以下の8項目と「その他」で分類しています。

■ 分類項目の設定にあたっては、現行の総合計画の基本目標及び意見の状況を踏まえて各項目を設定しています。



市民意見のまとめ

市民意見まとめページの見方



２．各回の概要

①　第1回

当日のスケジュール

第1回

時間	プログラム	主な内容
14:00-14:15	開会	• 開会にあたっての説明 • 市長挨拶 • 事務局紹介
14:15-14:30	事前インプット	• 総合計画に関する説明 • 田園環境都市おやまビジョンに関する説明 • 市民会議の開催目的に関する説明
14:30-14:40	実施方法の説明	• ワールドカフェ形式に関する説明
14:40-14:45	自己紹介	• 各グループでの自己紹介
14:45-15:15	第1ラウンド「小山の好きなところ」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング • 振り返り
15:15:15:20	移動	• 席替え
15:20-15:50	第2ラウンド「これからの小山で大切にしたいこと」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング • 振り返り
15:50-16:00	全体の振り返り	• 各自の振り返り • グループでのディスカッション
16:00-16:20	発表	• 各班からの発表
16:20-16:30	閉会	• 市長・副市長からの講評 • アンケート記入

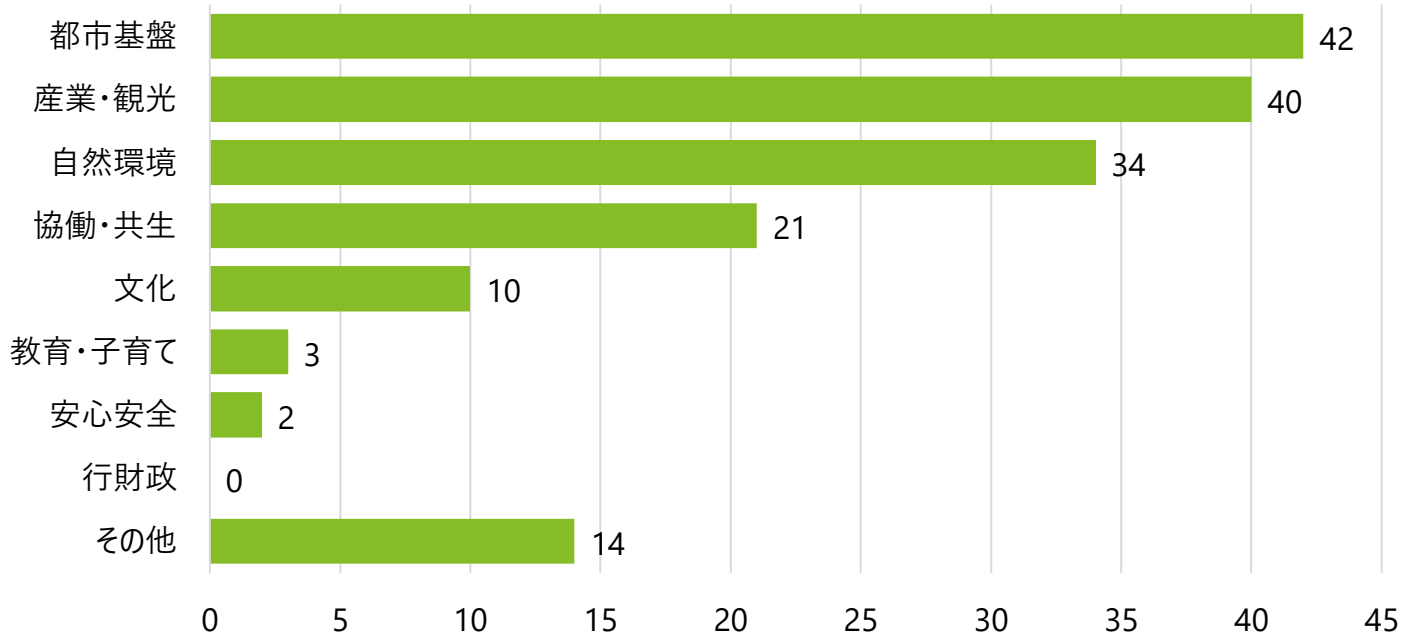
第1ラウンド：小山の好きなところ

分類ごとの意見数

■ 第1ラウンドにおいてあげられた166件の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「都市基盤」に関する意見が最も多く、42件ありました。 主な内容は、交通や住環境に関するものでした。

■ 続いて、「産業・観光」に関する意見が40件ありました。主な内容は、おいしい農産物や魅力ある個人店に関するものでした。



第1ラウンド：小山の好きなところ

分類ごとの意見内容（1/2）

都市基盤（42）

交通利便性の高さ

- 新幹線が通っており、東京へのアクセスがよい
- JRの本数があり、各地に行きやすい
- 幹線道路が整備されており、車での交通が便利である
- 公園が整備されている
- 人が多すぎず、ちょうどよい都会・田舎
- 広い道や区画整理された街並み

産業・観光（40）

お店・イベントの多さ

- 個人のお店が多く、頑張っている
- おいしい飲食店（ラーメン店、カフェ等）が多い
- お米や野菜、いちご等の農産物がおいしい
- 花火大会やマルシェ等のイベントが多い

自然環境（34）

身近な自然

- 思川がある
- 平坦な地形である
- 田畑の景色がある
- 夕日や朝日、山並みの風景がよい
- 天候がよく、日照時間が長い

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

第1ラウンド：小山の好きなところ

分類ごとの意見内容（2/2）

協働・共生（21）

ほどよい地域のつながり

- 住民参画が進んでいる
- 外部に対して開かれている
- ほどよいつながりがある
- 若者も活躍している

文化（10）

歴史・伝統行事の存在

- 小山評定で知られている
- 包丁式やじゃがまいた、地域の祭り等の伝統行事がある

教育・子育て（3）

大学の存在と若者の多さ

- 大学がある
- 若者が多い

安心安全（2）

災害リスクが少ない

- 災害がない（水害はあるが、土砂災害はない）

行財政（0）

—

その他（14）

- 伸びしろがある
- スポーツチームがある

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

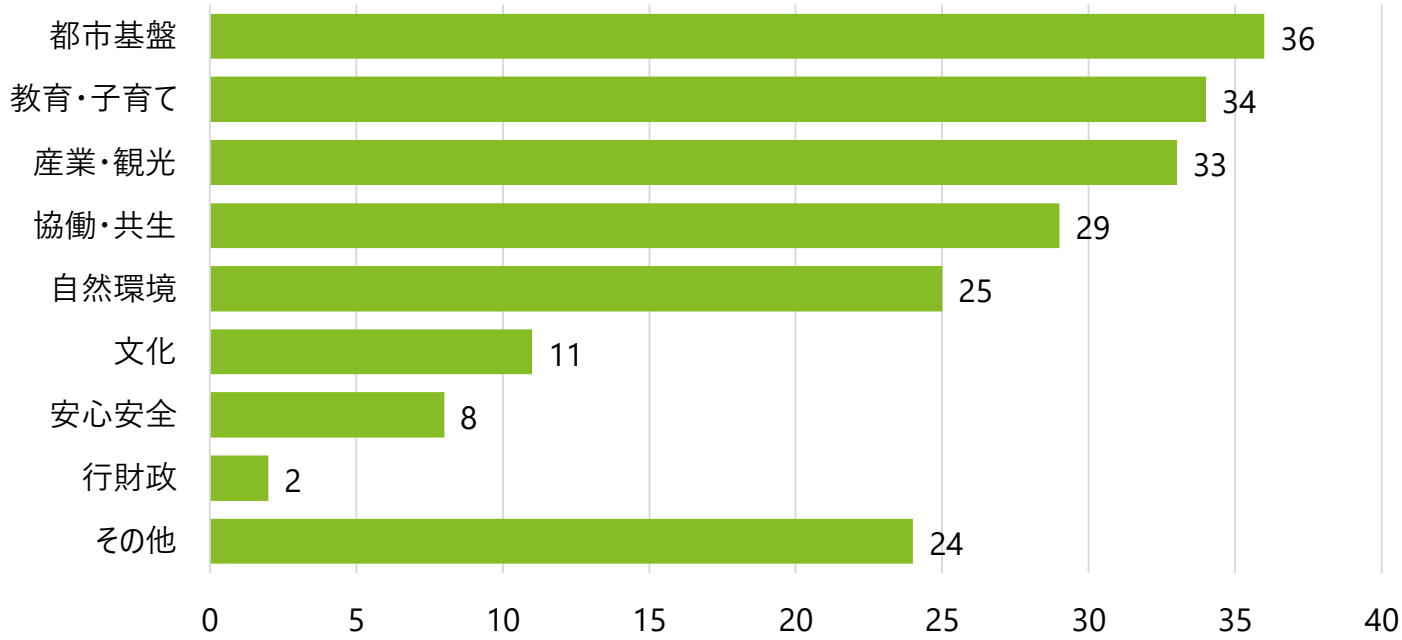
第2ラウンド：これからの小山で大切にしたいこと

分類ごとの意見数

■ 第2ラウンドにおいてあげられた202件 の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「都市基盤」に関する意見が最も多く、36件ありました。 主な内容は、交通や駅前のにぎわいに関するものでした。

■ 続いて、「教育・子育て」に関する意見が34件ありました。主な内容は、子育てしやすい環境や若者が活躍できる環境に関するものでした。「教育・子育て」に関する意見は、第1ラウンド（小山の好きなところ）での3件から大きく増加しました。



第2ラウンド：これからの小山で大切にしたいこと

分類ごとの意見内容（1/2）

都市基盤（36）

交通利便性と駅前のにぎわい

- 新幹線・JR・おーばす等による交通利便性の高さ
- 駅前のにぎわい
- 車が無い人・子どもでも移動に不便しないウォーカブルな環境
- ちょうどいい住環境
- 空き家対策
- 公園

教育・子育て（34）

子育てしやすく若者が活躍できる環境

- 子育て支援
- 子どもが遊べる・スポーツできる場所
- 児童館・キッズランド等の施設
- 市民教育・郷土学習など多様な教育
- 白鷗大学・小山高専等の教育機関
- 若者の活躍

産業・観光（33）

おいしい農産物と魅力的な個人店

- 自然を生かした農業
- おいしい農産物と地産地消
- 魅力的な個人店
- にぎわいのある商業施設
- 花火大会をはじめとしたイベント

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

第2ラウンド：これからの小山で大切にしたいこと

分類ごとの意見内容（2/2）

協働・共生（29）

寛容なコミュニティ

- 外部の人を受け入れる空気
- 人と人のつながり（地域コミュニティ）
- 多文化共生
- すべての人にやさしい町
- 行政への市民参加

自然環境（25）

身近な自然

- 思川の自然
- 渡良瀬遊水地の自然
- 手入れされた自然、田畑の風景
- 桜
- コウノトリ

文化（11）

伝統文化の継承

- 伝統文化
- 地域の祭り

安心安全（8）

交通利便性が高い

- 治安のよさ
- お年寄りをはじめとした市民の健康・元気
- 福祉の充実・介護問題の解決

行財政（2）

財政

- 税収の確保・財政

その他（24）

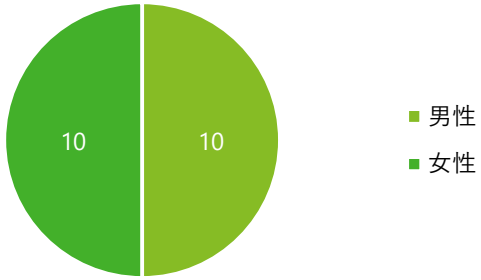
- 今あるものを活かす
- 人を呼ぶ
- 地域への肯定感・誇り・アイデンティティ
- リラックスできる環境

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

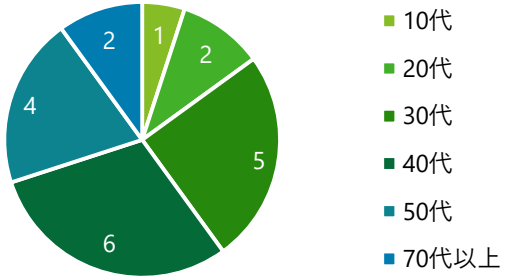
参加者アンケート

基本情報

性別

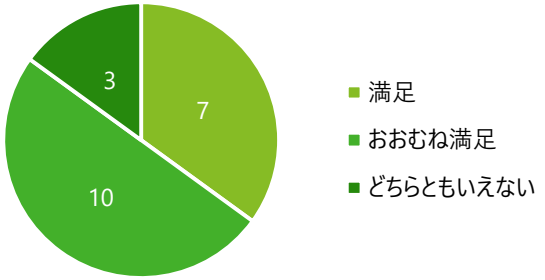


年代



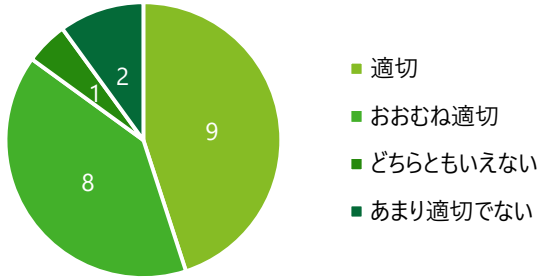
プログラムについて

プログラムは満足できるものであったか



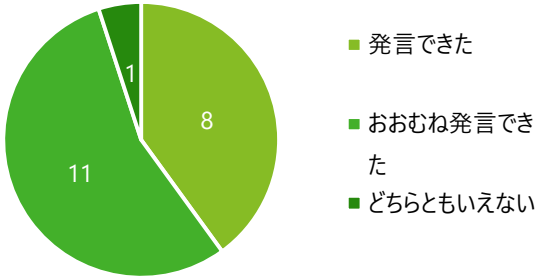
17名から「満足」及び「おおむねね満足」との回答をいただきました

テーマは適切であったか



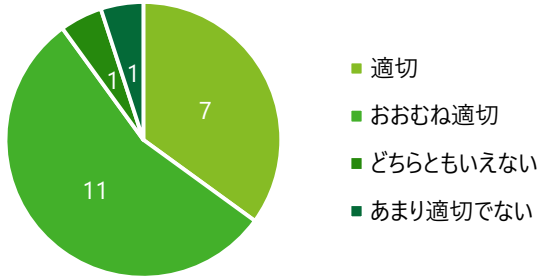
17名から「適切」及び「おおむねね適切」との回答をいただきましたが、テーマをしぼって、より具体的に話すことができればよかったとの意見をいただきました

発言できたか



19名から「発言できた」及び「おおむね発言できた」との回答をいただきました。様々な方と対話できてよかった等、ワールドカフェ形式について肯定的な意見をいただきました

時間は適切であったか



18名から「満足」及び「おおむねね満足」との回答をいただきましたが、議論の時間をもっとほしい、ゆとりをもって進行してほしいとの意見をいただきました

当日の様子

写真

２．各回の概要

②　第2回

当日のスケジュール

第2回

時間	プログラム	主な内容
14:00-14:13	開会・事前インプット・実施方法の説明	• 開会にあたっての説明 • 総合計画に関する説明（第1回の補足） • 市民会議の開催目的に関する説明（第1回の補足） • 前回の振り返り • ワールドカフェ形式に関する説明
14:13-14:17	自己紹介・案内人決め	• 各グループでの自己紹介 • 各グループでの案内人決め
14:17-14:44	第1ラウンド「小山の理想像」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング・振り返り
14:44:14:49	移動	• 席替え
14:49-15:18	第2ラウンド「小山の理想像に向けて行政に期待すること」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング・振り返り
15:18-15:23	移動	• 席替え
15:23-15:52	第3ラウンド「小山の理想像に向けて自分にできること/したいこと」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング・振り返り
15:52-15:56	全体の振り返り	• 各自の振り返り • グループでのディスカッション
15:56-16:30	発表	• 各班からの発表
16:30-16:35	閉会	• 市長・副市長からの講評 • アンケート記入

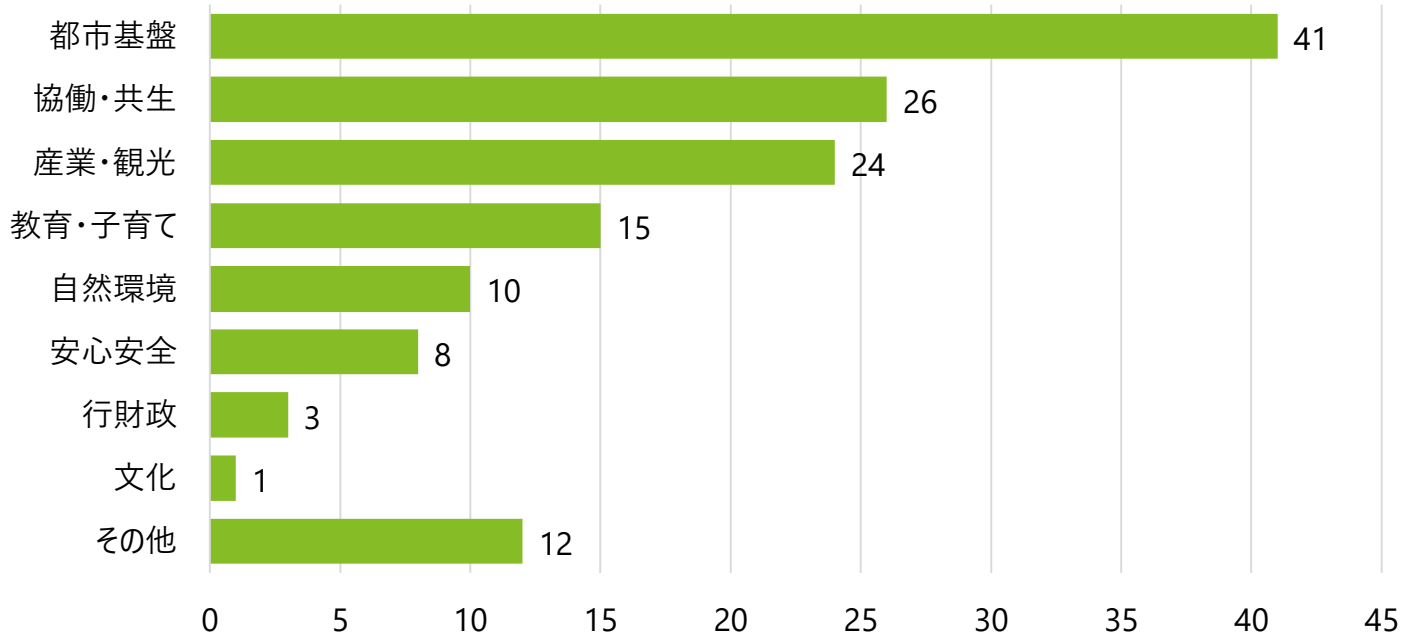
第1ラウンド：小山の理想像

分類ごとの意見数

■ 第1ラウンドにおいてあげられた140件の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「都市基盤」に関する意見が最も多く、41件ありました。 主な内容は、交通に関するものでした。

■ 続いて、「協働・共生」に関する意見が26件ありました。主な内容は、地域コミュニティに関するものでした。



第1ラウンド：小山の理想像

分類ごとの意見内容（1/2）

都市基盤（41）

便利で居心地のよいまち

- 駅周辺に居場所がある、サードプレイスがたくさんあるまち
- 都会と田舎のバランスがよい、田園環境都市らしいまち
- コンパクトでウォーカブルなまち
- おーバスの充実、車が無くても困らないまち
- 北関東のハブ・首都圏のサテライトタウン

協働・共生（26）

交流があり、誰もが住みやすいまち

- 誰もが元気で明るい雰囲気のまち
- 子どもや高齢者が集まれるまち、交流があるまち
- 女性や障がい者、外国人などみんなが活躍し、居場所があるまち
- チャレンジしやすい、多くの主役がいるまち
- 隣人とあいさつでき、孤独がない、つながれるまち

産業・観光（24）

活力ある産業とにぎわいのあるまち

- 農業が盛んで生産者の顔がみえるまち
- 駅前が人・お店・文化でにぎわいのあるまち
- ワークライフバランスの実現と、働ける・働きたいまち
- 誰もが知る名物、自慢できるものがたくさんあるまち
- 遊べる、楽しいまち
- 渡良瀬など観光客が集まるまち

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

第1ラウンド：小山の理想像

分類ごとの意見内容（2/2）

教育・子育て（15）

子育てしやすく、若者が集まるまち

- 子育てに理解があり、子育てしやすいまち（まち全体・企業等の支援等）
- 若者が集まり、活気あるまち
- 誰もが学べるまち

自然環境（10）

自然が身近なまち

- 自然と生活環境のバランスがとれたまち
- 自然豊かで景色がきれいなまち
- 川を活かしたまち（思川桜、巴波川決壊口祈念公園など）

安心安全（8）

誰もが安心・安全できるまち

- 高齢者が元気で心配なく生活できるまち
- 誰もが健康なまち
- 地域での助け合いがあるまち

行財政（3）

—

- 公共施設が使いやすいまち

文化（1）

—

- 独自の文化があるまち

その他（12 ）

- 何もないけど住みやすいまち
- 自慢があり、誇れるまち

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

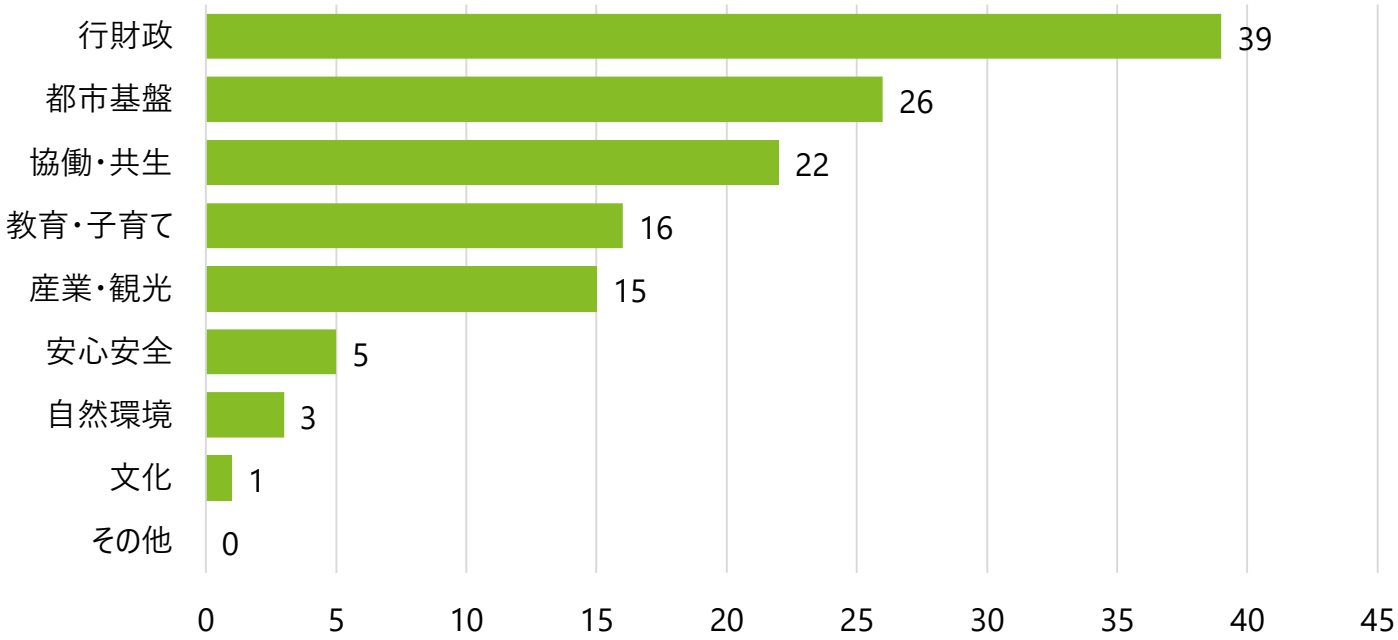
第2ラウンド：小山の理想像に向けて行政に期待すること

分類ごとの意見数

■ 第2ラウンドにおいてあげられた127件 の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「行財政」に関する意見が最も多く、39件ありました。 主な内容は、情報発信の強化に関するものでした。

■ 続いて、「都市基盤」に関する意見が26件ありました。主な内容は、おーバスの充実や公園整備に関するものでした。



第2ラウンド：小山の理想像に向けて行政に期待すること

分類ごとの意見内容（1/2）

行財政（39）

市民との協働の強化

- 収支・弾力性・将来負担を見据えた財政基盤の強化
- 市民へのわかりやすい情報提供、発信力の強化
- 地域外への魅力PR・広報力の強化
- 協働のさらなる推進（職員がまちに出て、市民を見る）
- 地域のリーダー育成に向けた取組
- 国・県等の機関との連携
- 行政が主役にならず、市民を支援し、見守る

都市基盤（26）

便利で住みやすいまちづくり

- おーバスの利便性向上
- コンパクトでウォーカブルなまちづくり
- 段差のない歩道・道路の整備
- 本数の増加、新駅の設置など鉄道の利便性向上
- 人口が減らないまちづくり（人口維持）

協働・共生（22）

地域のコミュニティづくり・維持への支援

- コミュニティセンターの充実や地域のつながりをつくることができるイベントの実施
- 外国人とのコミュニティ形成に向けた支援
- 町内会への支援（ダイバーシティの実現、高齢化を見据えた維持）
- 多言語での情報発信等の情報共有の充実

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

第2ラウンド：小山の理想像に向けて行政に期待すること

分類ごとの意見内容（2/2）

教育・子育て（16）

子育てへの支援

- 保育士・保育所の確保など子育て環境の充実
- 若者の活躍支援
- PTAの負担軽減
- 図書館・生涯教育の充実

産業・観光（15）

駅前の活性化

- 駅前の活性化に向けた支援（駐車場整備、みどころの案内、事業に対する補助・特典）
- 地産地消の推進など新規就農、農業への支援
- 企業誘致等、小山で働ける環境づくり

安心安全（5）

安心できる環境づくり

- 災害に強いまちづくり（ハード面）
- 福祉の強化
- 空き家の整備

自然環境（3）

—

- 景観整備（思川桜の管理、緑の保全）

文化（1）

—

- 各地区の祭り、伝統文化の発表会の開催

その他（0）

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

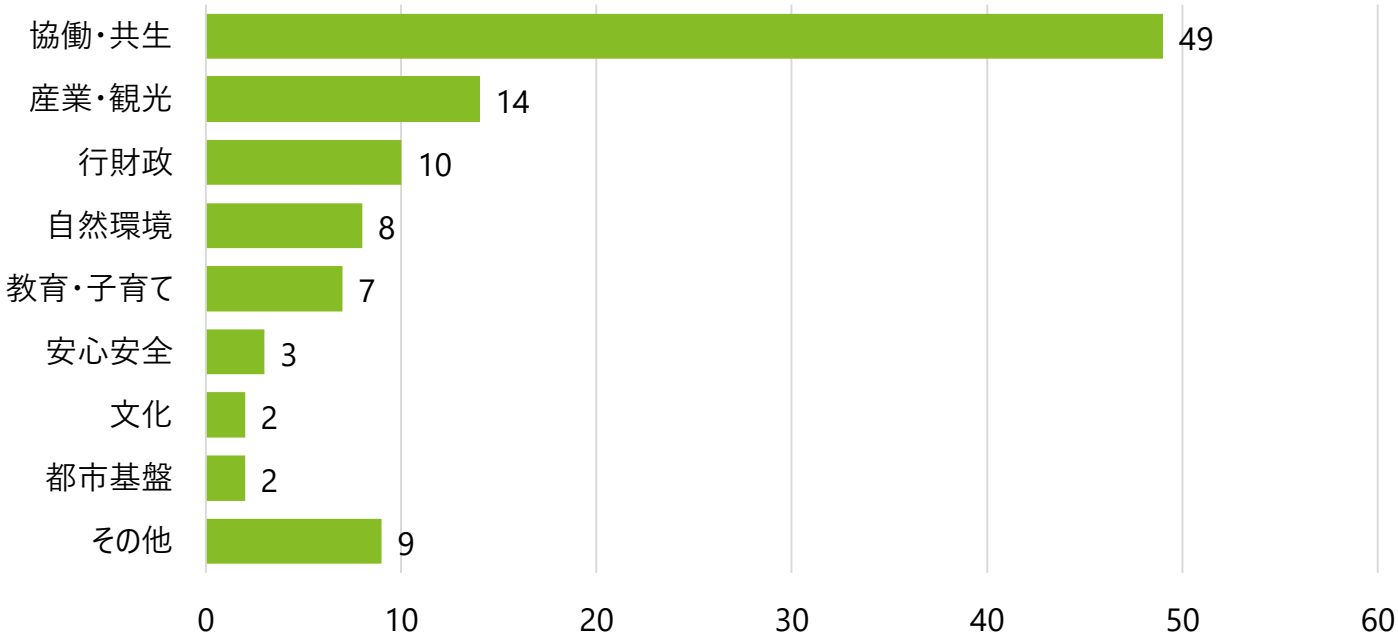
第3ラウンド：小山の理想像に向けて自分ができること、したいこと

分類ごとの意見数

■ 第3ラウンドにおいてあげられた104件 の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「協働・共生」に関する意見が最も多く、49件ありました。 主な内容は、意見を発信することや、地域でのコミュニケーションに関するものでした。

■ 続いて、「産業・観光」に関する意見が14件ありました。主な内容は、地域での買い物やイベントへの参加に関するものでした。



第3ラウンド：小山の理想像に向けて自分ができること、したいこと

分類ごとの意見内容（1/2）

協働・共生（49）

地域コミュニティへの参画

- 子ども・高齢者へのあいさつ等、コミュニケーションをする
- 市民同士のつながりを広める（地域での問題に気づく、意見を出す・広める、参画する、誘う）
- 市民会議等のイベントに参加する等、行政と積極的に関わる
- 町内会に参加する

産業・観光（14）

イベントへの参加や地域での消費拡大

- マルシェ等の地域のイベントに参加する
- 地域のイベントを企画・協力する
- チェーン店より個人店を使い、地域でお金を使う（地域のお土産を買って渡す、飲み会をする）

行財政（10）

選挙に行く

- 納税する
- 選挙に行き、投票する

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

第3ラウンド：小山の理想像に向けて自分ができること、したいこと

分類ごとの意見内容（2/2）

自然環境（8）

ゴミ拾い等の環境美化

- ゴミ拾いボランティアに参加する
- ゴミ捨て場を清掃する
- 省エネに努める
- 思川桜をめでる

教育・子育て（7）

地域で子どもを見守り子育てを支援する

- 子どもへの声掛け
- 子育て世帯の手助け
- 学校ボランティアに参加する
- 市民大学への参加（小山を知り、教える）

安心安全（3）

地域の防災意識の向上

- 地域防災イベントの実施
- 防災ボランティアへの参加

文化（2）

—

- おやま百景祭りをPRする

都市基盤（2）

—

- 公共施設・公共交通機関を利用する

その他（9）

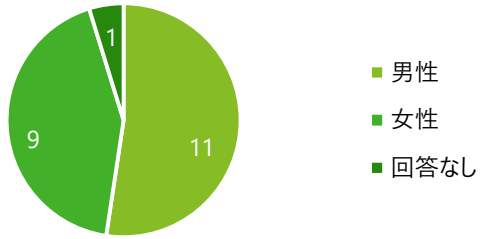
- 市の魅力を話す・発信する
- 自分自身が幸せに暮らす

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

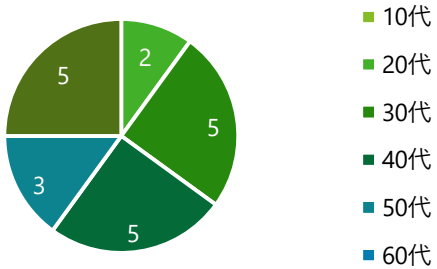
参加者アンケート

基本情報

性別

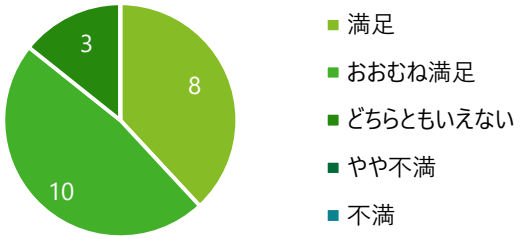


年代



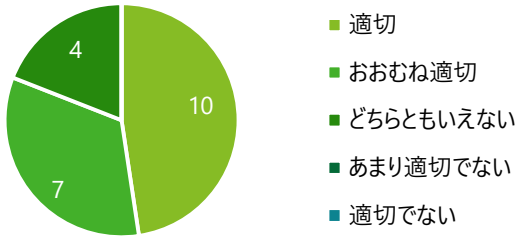
プログラムについて

プログラムは満足できるものであったか



18 名から「満足」及び「おおむねね満足」との回答をいただきました。多様な意見を聞けた等の意見が多い一方で、グループを固定し議論を深めたいとの意見もいただきました

テーマは適切であったか

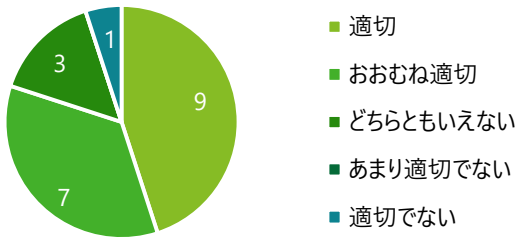


17名から「適切」及び「おおむねね適切」との回答をいただきました。具体的なテーマでよかったとの意見が多い一方で、難しかったとの意見もいただきました

発言できたか

18名から「発言できた」及び「おおむね発言できた」との回答をいただきました。ワールドカフェ形式に慣れ、本音を発表し、十分に理解された等の意見をいただきました

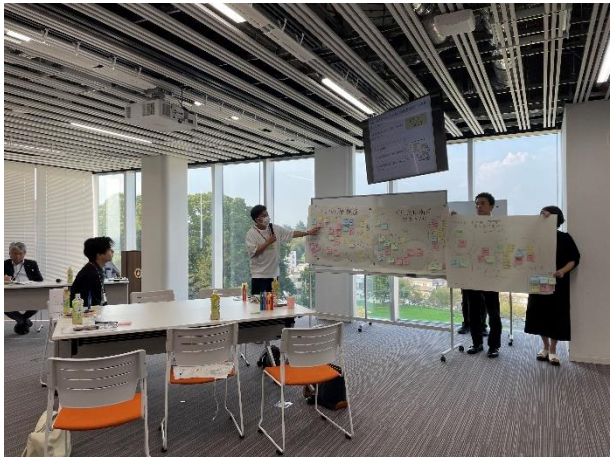
時間は適切であったか



16名から「適切」及び「おおむねね適切」との回答をいただきましたが、テーマに対して不足気味だった、3時間が適切である、休憩時間が欲しかった等の意見をいただきました

当日の様子

写真



２．各回の概要

③　第3回

当日のスケジュール

第3回

時間	プログラム	主な内容
14:00-14:14	開会・事前インプット・実施方法の説明	• 開会にあたっての説明 • 前回の振り返り • 高校生・大学生アンケート結果（抜粋）の紹介 • 実施方法に関する説明
14:14-14:19	自己紹介	• 各グループでの自己紹介
14:19-14:43	第1ラウンド「子どもにとって住みよい小山」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング・振り返り
14:43-15:07	第2ラウンド「現役世代にとって住みよい小山」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング・振り返り
15:07-15:22	休憩	―
15:22-15:46	第3ラウンド「高齢者にとって住みよい小山」	• 各自付せんの記入 • グループでのディスカッション • 意見のグルーピング・振り返り
15:46-15:52	全体の振り返り	• 各自の振り返り • グループでのディスカッション
15:52-16:19	発表	• 各班からの発表
16:19-16:30	閉会	• 総括 • 市長・副市長からの講評 • アンケート記入

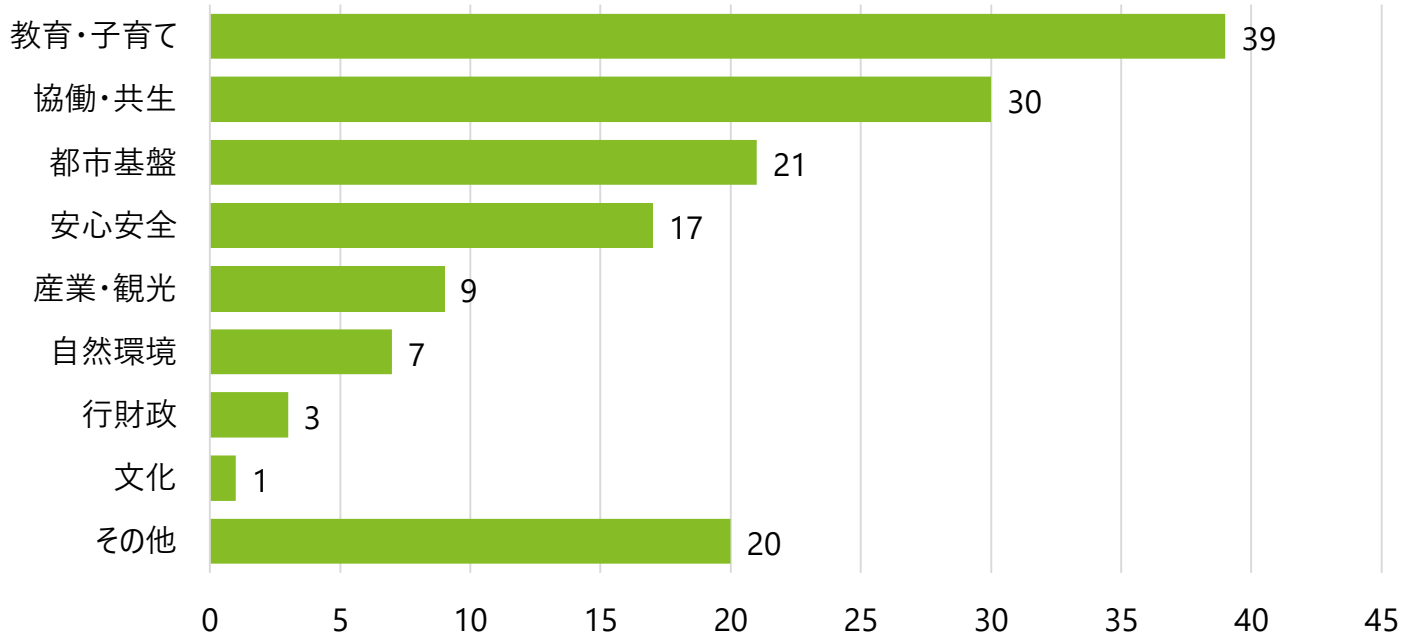
第1ラウンド：子どもにとって住みよい小山

分類ごとの意見数

■ 第1ラウンドにおいてあげられた147件の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「教育・子育て」に関する意見が最も多く、39件ありました。 主な内容は、学校の内外での多様な学びに関するものでした。

■ 続いて、「協働・共生」に関する意見が30件ありました。主な内容は、地域での見守りに関するものでした。



第1ラウンド：子どもにとって住みよい小山

分類ごとの意見内容（1/2）

教育・子育て（39）

学校の内外に多様な学びがある

- 質の高い教育を、平等に受けられる
- 生きる力・生き物を大切にする授業・活動など、地域の特性を生かした特別な授業・活動がある
- 進学先がたくさんあり、行きたい学校に行ける
- 多様な部活動や習い事ができる
- 学習スペースや図書館など勉強場所がたくさんある
- 充実した学童施設を無償で利用できる
- 不登校用のフリースクールや子ども食堂などの居場所がある

協働・共生（30）

地域に見守ってくれる人がいる

- 近所に友達がたくさんいる
- 地域の人とあいさつができる
- 幅広い年代の人とふれあうことができる
- 気にかけ、注意してくれる大人がいる
- 信頼でき、相談できるる大人がいる
- 家・学校以外の居場所（頼れる先）がある

都市基盤（21）

安全に遊べる場所がある

- 遊べる場所（公園・広場）が多くある
- 緑、遊具が多く、安全な公園がある
- 夏や雨の日でも遊べる場所がある
- テーマパークやアスレチックがある
- わかりやすいバスや自転車道の整備など、子どもだけで移動できる環境がある

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

第1ラウンド：子どもにとって住みよい小山

分類ごとの意見内容（2/2）

安心安全（17）

通学路などの安全な環境がある

- 通学路が安心安全である
- 交通安全が確保されている
- 犯罪が少なく、一人でも安心して歩ける

産業・観光（9）

子ども向けのイベント・商業施設がある

- 子どものための祭り・イベントがある
- 駄菓子屋、ハーベストのような子どもが楽しめる施設がある
- 地産地消でおいしいご飯が食べられる

自然環境（7）

自然を体験できる

- 自然豊かでよい環境がある
- 虫、自然などを体験できる森や公園がある

行財政（3）

子どもの意見を聞く

- 子ども投票権・アンケートの実施
- 子育て世代と子どもの転入に向けた財政的支援

文化（1）

伝統文化を体験できる

- 結城紬の着用

その他（20）

のびのびと遊べる

- 放課後自由に遊ぶことができる
- 親・大人たちにゆとりががある

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

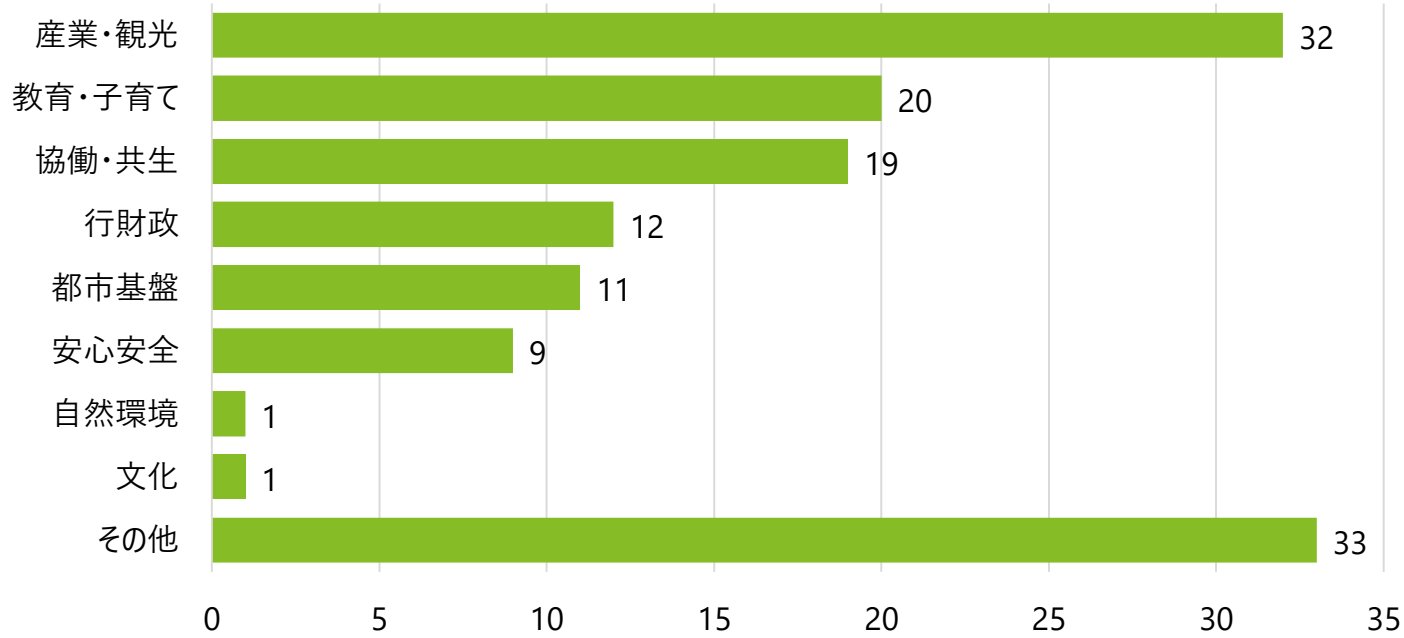
第2ラウンド：現役世代にとって住みよい小山

分類ごとの意見数

■ 第2ラウンドにおいてあげられた138件 の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「産業・観光」に関する意見が最も多く、32件ありました。 主な内容は、働きやすさに関するものでした。

■ 続いて、「教育・子育て」に関する意見が20件ありました。主な内容は、子育て支援の充実に関するものでした。



第2ラウンド：現役世代にとって住みよい小山

分類ごとの意見内容（1/2）

産業・観光（32）

働きやすい環境がある

- 企業誘致の推進、創業支援などにより仕事の選択肢が多く、希望の仕事に就くことができる
- 賃金が高く、男女格差が少ない
- 職住が近接し、通勤利便性が高い
- 安全で豊富な食材が多い
- おしゃれでおいしい飲食店が充実している
- 買い物が便利

教育・子育て（20）

子育てへの支援がある

- 放課後の無料預かりなど子どもを預ける場所がある
- 子育て支援が充実している
- 教育が充実している
- スポーツ施設や図書館の充実

協働・共生（19 ）

地域での交流・支えあいがある

- 仕事以外の友達・仲間がいる
- 困ったときに助け合えるご近所づきあいがある
- 多様なコミュニティ・団体がある
- 仲間はずれがなく、孤独なひとがいない

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

第2ラウンド：現役世代にとって住みよい小山

分類ごとの意見内容（2/2）

行財政（12）

税・公共料金等の経済的な負担が軽い

- 税・公共料金・公共施設利用料金が安い
- 情報（行政・支援情報）を得やすい
- 大学との連携や政策提言機会がある

都市基盤（11）

交通利便性が高い

- 渋滞がなく、駐車場が多いなど自動車を利用しやすい
- バス・電車の利便性が高い
- 中心部への機能集約と田園環境の調和がある

安心安全（9）

親の介護の心配がない

- 福祉が充実しており親の面倒を見やすい、介護の心配がない
- 医療が充実している
- 犯罪や家事が少ない

自然環境（1）

—

- 遊びに行ける自然がある

文化（1）

—

- 文化を楽しむことができる

その他（33）

自分の時間を持てる

- 趣味・余暇を楽しむことができる
- 休める場所・サードプレイスがある
- 貯蓄ができ、経済的に安心できる

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

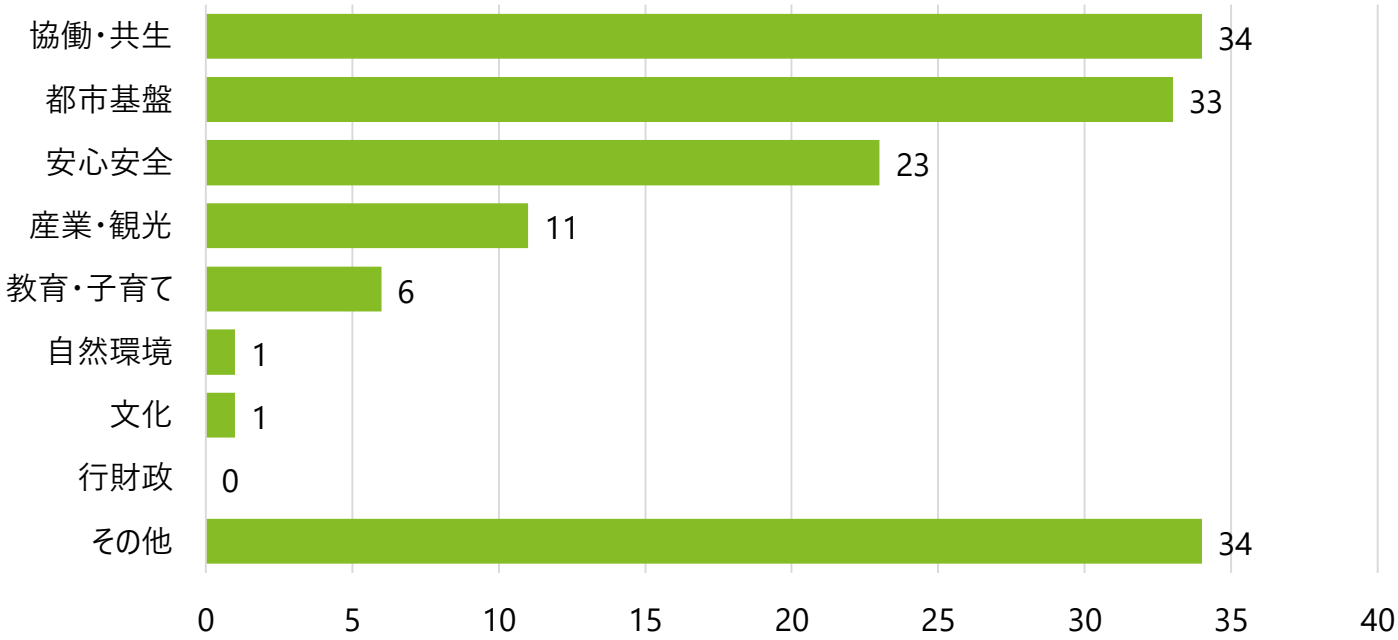
第3ラウンド：高齢者にとって住みよい小山

分類ごとの意見数

■ 第3ラウンドにおいてあげられた143件 の意見について、8項目及び「その他」に分類しました。

■ 「協働・共生」に関する意見が最も多く、34件ありました。主な内容は、地域でのつながりや世代間の交流に関するものでした。

■ 続いて、「都市基盤」に関する意見が33件ありました。主な内容は、公共交通の充実など移動手段の確保に関するものでした。



第3ラウンド：高齢者にとって住みよい小山

分類ごとの意見内容（1/2）

協働・共生（34）

地域でのつながりがある

- 子ども、孫たちとのつながりがある
- 自治会などコミュニティに参加でき、いつでも集まれる場所、サードプレイスがある
- 仲間・友達と交流できる
- 子ども・若い世代と交流できる
- 必要とされ、活躍できる場所がある
- 声をかけてくれる人、気にかけてくれる人、助けてくれる人がいる

都市基盤（33）

移動に困らない

- おーバスの充実や無料送迎（ボランティア）など、車が無くても不便せず移動できる
- 細やかで便利な公共交通がある
- 段差のない歩道や町なかのベンチ・休憩所など、出かけやすい環境がある
- 子どもや他の高齢者と交流できる施設がある
- 自宅のバリアフリー化への支援がある

安心安全（23）

医療・福祉が充実している

- 病院へのアクセスが容易で、充実した医療を受けることができる
- 食事など、生活で必要なものを届けてもらえる
- 訪問介護やヘルパーなど、在宅介護を受けることができる
- 助けを求める先がある

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

第3ラウンド：高齢者にとって住みよい小山

分類ごとの意見内容（2/2）

産業・観光（11）

経験を活かして働くことができる

- 経験を活かして働ける場がある
- 身近な商店街、カフェ・映画館等の施設がある

教育・子育て（6）

子どもを見守る機会がある

- 学童運営・小学生を見守るボランティア活動に参加できる
- 美術館、博物館等での生涯学習の機会がある

自然環境（1）

—

- 自然とのつながりを実感できる

文化（1）

—

- 地域の伝統文化を継承できる

行財政（0）

—

その他（34）

健康を維持できる

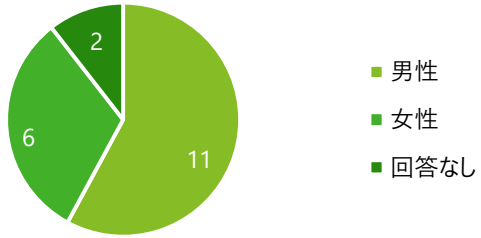
- 運動による健康の維持ができる
- 人の役に立てる機会、生きがいがある
- 経済的な心配がない

※当日出された意見を抜粋・類似意見を要約の上、記載しております。

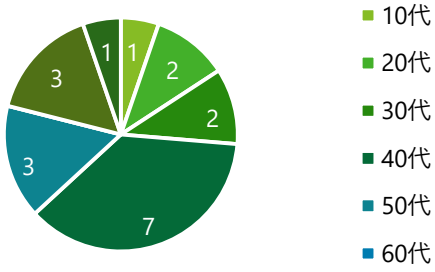
参加者アンケート

基本情報

性別

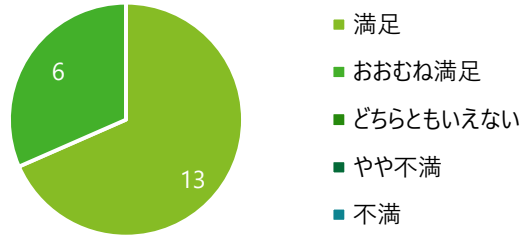


年代



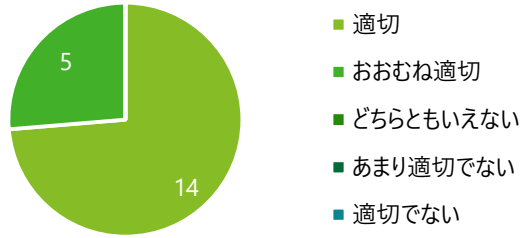
プログラムについて

プログラムは満足できるものであったか



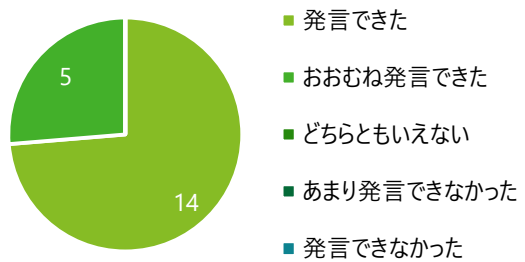
すべての回答者から「満足」及び「おおむねね満足」との回答をいただきました。参加してよかった等、肯定的な感想を多くいただきました

テーマは適切であったか



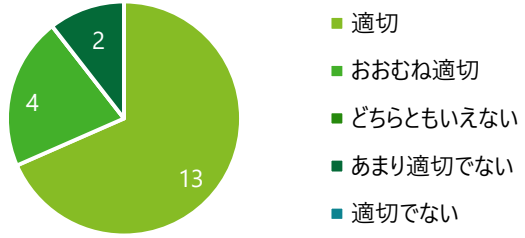
すべての回答者から「適切」及び「おおむねね適切」との回答をいただきました。世代間の対話により、多種多様な意見が出、新たな気付きを得た等の意見をいただきました

発言できたか



すべての回答者から「発言できた」及び「おおむね発言できた」との回答をいただきました。グループを固定することにより議論を深めることができたとの意見をいただきました

時間は適切であったか



17名から「適切」及び「おおむねね適切」との回答をいただきました。ちょうどよい、休憩があってよかった等の意見の一方で、もっと時間が欲しかったとの意見をいただきました

当日の様子

写真